

問1 19世紀初めの文化・文政期（11代将軍徳川家斉の時代）を中心に栄えた「化政文化」の特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 滋賀公立入試 類似）

1. 政治の中心地である江戸を中心に、浮世絵や滑稽本などの娯楽が広まった庶民的な文化
2. 京都や大坂（上方）の町人を担い手とし、井原西鶴や近松門左衛門らが活躍した文化
3. 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた金閣に代表される文化
4. 聖徳太子の時代に、大陸の影響を受けて飛鳥地方で発展した仏教文化

問2 寒冷前線が通過する際に、前線面のすぐ近くで垂直にそびえ立つ積乱雲がもたらす気象現象の特徴として、最も適切なものはどれか。（2019年 滋賀公立入試 類似）

1. 短時間に狭い範囲で強い雨が降り、雷や突風を伴うことが多い。
2. 長時間にわたり広い範囲でおだやかな雨が降り続く。
3. 雲は非常に高い位置にあり、雨を降らせることはほとんどない。
4. 雲が空を覆うが、風は弱まり、気温が急激に上昇する。

問3 室町時代に発生した「土一揆」において、農民たちが借金の帳消しを求めて主に襲撃した対象として、最も適切なものを選びなさい。（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 土倉や酒屋などの高利貸し
2. 周辺の国を治める守護大名
3. 朝廷に仕える公家や貴族
4. 海外との貿易を独占する商人

問4 近年、滋賀県などの自治体では「びわ湖材」のように、その地域で生産された木材である「県産材」の利用の促進に取り組んでいます。このように、地域の資源を積極的に消費することが、森林の保全や地域社会にどのような良い影響を与えるか、その理由として最も適切なものを選びなさい。（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 木材を適切に使用することで、植林や間伐などの手入れが継続され、森林が持つ水源のかん養や土砂災害の防止といった機能が維持される。
2. 森林の伐採を全面的に禁止することで、原生林に近い状態を保ち、野生動物の生息地を守ることが、最も効果的な環境保全につながる。
3. 安価な外国産材の輸入をさらに拡大し、国内の木材を全く使わずに温存しておくことで、将来の資源不足に備えることができる。
4. すべての森林を住宅地や工業用地として開発し、得られた利益を環境保護団体に寄付することで、間接的に自然を守ることができる。

問5 植物の細胞を顕微鏡で観察すると、細胞膜のさらに外側を囲んでいる丈夫な構造が確認できる。植物の体を支える役割を持つこの構造の名称として適切なものはどれか。（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 細胞壁
2. 細胞膜
3. 葉緑体
4. 液胞

問6 山地が沈降したり海面が上昇したりして形成された、鋸歯（のこぎり）の歯のように複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼びますか。（2018年 滋賀公立入試 類似）

1. リアス海岸
2. 砂浜海岸
3. 扇状地
4. 三角州

問7 世界の大豆生産において高いシェアを誇るブラジル、アメリカ合衆国、アルゼンチンの3カ国すべてに共通する、地理的な位置に関する説明として最も適切なものはどれですか。なお、位置の基準は本初子午線および赤道とします。（2024年 滋賀公立入試 類似）

1. すべての国の首都が、本初子午線より西側の西経の範囲に位置している。
2. すべての国の首都が、本初子午線より東側の東経の範囲に位置している。
3. すべての国の首都が、赤道より北側の北緯の範囲に位置している。
4. すべての国の首都が、赤道より南側の南緯の範囲に位置している。

問8 北半球のユーラシア大陸や北アメリカ大陸の北部に広く分布し、夏はある程度の気温上昇が見られるものの、冬の寒さが非常に厳しく、タイガと呼ばれる針葉樹林が広がる気候帯を何といいますか。（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 熱帯
2. 乾燥帯
3. 温帯
4. 亜寒帯（冷帯）

問9 石灰岩は、サンゴやフズリナなどの生物の死がいなどが堆積してできた岩石です。この石灰岩の性質や見分け方について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 滋賀公立入試 類似）

1. うすい塩酸をかけると、二酸化炭素の気体が発生する
2. ハンマーなどでたたくと、決まった方向に薄い板状にはがれる
3. 磁石を近づけると、岩石に含まれる成分が反応して引きつけられる
4. 鉄くぎで表面をひっかいても、傷をつけることができないほど硬い

問10 幕末の開国にともなって貿易が開始されると、日本から大量の金貨が国外へ流出する事態となりました。この背景にある、当時の日本と外国における「金と銀の交換比率」の状況を説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 日本国内では外国に比べて銀に対する金の価値が低く設定されており、外国人が銀を持ち込んで日本で金に交換すると、国際価格よりも多くの金が入る状況だった。
2. 日本国内では外国に比べて銀に対する金の価値が非常に高く設定されており、日本の金貨を海外に持ち出して売却すると、多額の銀が得られる状況だった。
3. 日本と外国の交換比率はほぼ同じであったが、日本の金貨は純度（金の含有量）が極めて高かったため、工業用の地金として海外で需要が高まった。
4. 世界的に金が不足していたため、幕府は不足していた銀を外国から輸入する目的で、国策として金貨を大量に輸出し、外貨獲得を優先した。

問11 石灰石にうすい塩酸を加えて二酸化炭素を発生させる際、反応が進むにつれて石灰石の様子はどのように変化しますか。その理由とともに正しい説明を選びなさい。（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 石灰石の主成分である炭酸カルシウムが塩酸と反応し、水に溶ける物質に変化するため、石灰石は溶けて小さくなっていく。
2. 石灰石は反応を促進させる触媒として働いているだけなので、反応が終わってもその質量や形に変化は見られない。
3. 石灰石に含まれる炭素が気体として放出された後、金属である亜鉛が残り、固体としてそのまま残存する。
4. 石灰石とうすい塩酸が反応すると、溶液中の水分が吸収され、石灰石の表面に白い粉末状の二酸化マンガンが付着して大きくなる。

問12 鹿児島県の養豚業における統計的な特徴について説明します。1964年には約5万戸あった飼育戸数が、2014年には約1千戸まで激減している一方で、県全体の総飼育頭数は約100万頭から140万頭の間で維持、あるいは微増しています。このデータから読み取れる、現在の鹿児島県の養豚業の状況として正しいものを選びなさい。（2017年 滋賀公立入試 類似）

1. 1戸あたりの飼育頭数が大幅に増加し、経営の大規模化が進んだ状況。
2. 養豚農家の減少に伴い、県全体の豚肉生産能力が著しく衰退している状況。
3. 小規模な農家が多数残り、伝統的な飼育方法が守られている状況。
4. 飼育戸数と総飼育頭数の両方が減少したことで、豚肉の希少価値が向上している状況。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 政治の中心地である江戸を中心に、浮世絵や滑稽本などの娯楽が広まった庶民的な文化	化政文化は、江戸時代後期の文化・文政期に発展しました。17世紀末の元禄文化が京都や大坂を中心としていたのに対し、化政文化は「江戸」を中心としたのが大きな特徴です。寺子屋の普及などによって庶民の教育水準が上がったこともあり、一部の知識層だけでなく、広く庶民が担い手となったことで、生活に密着した娯楽性の高い作品が多く生み出されました。
問2	答え 1 短時間に狭い範囲で強い雨が降り、雷や突風を伴うことが多い。	積乱雲は垂直方向に非常に厚く発達しているため、その雲の下では強い雨が降ります。しかし、前線付近の限定的な範囲に発生するため、雨が降る時間は比較的短くなります。また、激しい上昇気流の影響で、雷や突風といった激しい気象現象を伴うことが特徴です。
問3	答え 1 土倉や酒屋などの高利貸し	当時の農民は、生活費や年貢の支払いのために、土倉（どそう）や酒屋といった金融業者から借金をしていました。土一揆が発生すると、農民たちはこれらの高利貸しを襲い、借金の証書を破棄したり奪い取ったりすることで、実力行使による債務の免除を狙いました。これは「私徳政」とも呼ばれ、社会不安の一因となりました。
問4	答え 1 木材を適切に使用することで、植林や間伐などの手入れが継続され、森林が持つ水源のかん養や土砂災害の防止といった機能が維持される。	日本の人工林は、人の手が入ることで健康な状態が保たれます。県産材の利用の促進が進むと、木材が売れた収益が森林管理者に還元され、再び苗木を植えたり、密集した木を間引く「間伐」を行ったりすることが可能になります。これにより、太陽の光が地面まで届き、下草が生えて土壌が安定するため、洪水防止や水源の確保といった森林の多面的な機能が十分に発揮されるようになります。
問5	答え 1 細胞壁	植物細胞は、生命活動を包む細胞膜のさらに外側に、細胞壁と呼ばれる厚く丈夫なつくりを持っている。これは植物に特有の構造であり、骨格を持たない植物が自らの体を支えるために不可欠な要素である。一方、細胞膜はすべての細胞に共通の膜であり、葉緑体や液胞は細胞の内部に存在する小器官である。
問6	答え 1 リアス海岸	この地形は、かつて山地だった谷の部分に海水が入り込むことで形成されました。日本では岩手県の三陸海岸南部や三重県の志摩半島、福井県の若狭湾などが代表例です。入り組んだ湾内は波が穏やかになるため、古くから港や養殖場として利用されてきました。
問7	答え 1 すべての国の首都が、本初子午線より西側の西経の範囲に位置している。	大豆の主要生産国である3カ国は南北アメリカ大陸に位置しており、世界地図上ではイギリスを通る本初子午線よりも左側、つまり西側に位置します。この範囲は「西半球」と呼ばれ、経度は西経で表されます。一方で、緯度についてはアメリカ合衆国が北半球、ブラジルとアルゼンチンは主に南半球に位置しているため、赤道（緯度）を基準とした共通点にはなりません。
問8	答え 4 亜寒帯（冷帯）	この気候帯は、北半球の高緯度地域に位置する大陸内部から東岸にかけて広く分布しています。冬の寒さが厳しいため、耐寒性のある松や杉などの針葉樹林（タイガ）が形成されるのが最大の特徴です。南半球には同緯度に広大な陸地がないため、この気候帯はほとんど見られません。
問9	答え 1 うすい塩酸をかけると、二酸化炭素の気体が発生する	石灰岩を他の岩石と区別する際の最大の特徴は、うすい塩酸をかけたときに気体が発生するかどうかです。石灰岩の主成分である炭酸カルシウムが塩酸と反応すると、二酸化炭素が放出されます。一方、たたくと薄くはがれるのは泥岩や粘板岩（スレート）などの特徴であり、鉄くずで傷がつかないのは石英などを多く含む硬い岩石の特徴です。
問10	答え 1 日本国内では外国に比べて銀に対する金の価値が低く設定されており、外国人が銀を持ち込んで日本で金に交換すると、国際価格よりも多くの金が入る状況だった。	当時の国際的な金銀比価が「金1：銀15」程度であったのに対し、日本国内では「金1：銀5」程度でした。つまり、日本では銀に対する金の価値が外国よりも相対的に低く（安く）設定されていました。このため、外国人は海外で安く手に入れた銀を日本に持ち込んで金に交換し、それを再び海外へ持ち出すだけで、元々の3倍もの金を手に入れることができました。この利ざやを目的とした取引によって、日本の金貨は急速に国外へ流出しました。
問11	答え 1 1 石灰石の主成分である炭酸カルシウムが塩酸と反応し、水に溶ける物質に変化するため、石灰石は溶けて小さくなっていく。	石灰石の主成分である炭酸カルシウムが塩酸と化学反応を起こすと、二酸化炭素と水のほかに、水に溶けやすい性質を持つ塩化カルシウムが生成されます。そのため、反応が進むにつれて固体の石灰石は次第に減少し、最終的には溶液中に溶けて見えなくなります。触媒として働く二酸化マンガンなどとは性質が異なります。
問12	答え 1 2 1戸あたりの飼育頭数が大幅に増加し、経営の大規模化が進んだ状況。	飼育戸数が50分の1程度に減少しているにもかかわらず、飼育されている豚の総数が減っていないということは、1つの農家が非常に多くの豚を飼育するようになったことを示しています。これは、資本を集中させて機械化や効率的な設備導入を行い、競争力を高める「経営の大規模化」が進んだ結果です。